

## 情報系分野の産学連携人材ニーズ交流会の進め方について

平成23年3月3日

社団法人私立大学情報教育協会

### 1. これまでの経緯

情報系分野の人材育成について大学、産業界の双方で理解、認識にミスマッチが生じていることから、双方の意見交流の場として「産学連携人材ニーズ交流会」を実験的に実施してきました。その中で大学、産業界ともミスマッチを解消するために相互に連携し、協力・支援することの意義を確認しました。今後は、連携を本格的に進めるため、交流会の在り方について、以下のような方針で進めることを計画しています。

### 2. 産学連携人材ニーズ交流会の方針

社会の信頼に応えられる情報系分野の人材教育を実現するため、大学、産業界の双方が人材教育の役割・目標などについて意見交流を通じて理解・認識を深めるとともに、教育課程の在り方の探求、教育実践の点検・評価の積極化、連携による課題解決の探求、産学連携による教育支援の実施など、実験段階とは異なる具体的な取り組みを展開します。

### 3. 交流会の活動

#### (1) 教育課程の情報交流と連携による改善策の探求

- ① 卒業までに身に付けることが望まれる学習到達目標及び水準、教育内容・方法について産学間で情報交流します。
- ② ミニマム・リクワイアメントからグローバルなレベルまでの教育の在り方を整理共通理解する中で、教育実践の対応状況について自己点検・評価の積極化を促進します。
- ③ 教育改善の課題解決を図るため、大学間、産学間による連携の内容・在り方を探求します。(例えば、学習到達度の客観的評価の仕組み:外部評価試験など)
- ④ 交流会での活動情報をオープン化し、大学、関連企業、政府機関、関係団体等に配信します。

#### (2) 産学連携の実施環境の整備

- ① 連携内容の調整とモデルの構築  
連携の内容について調査及び打ち合わせ等の調整を行い、実現可能な連携モデル(連携の条件、ルール等)を構築します。
- ② 連携実施の仲介  
支援の要請、支援の提供を仲介する連携プラットフォームを本協会に構築し、連携のマッチング等仲介をマネジメントします。

③ 連携事業の広報と普及

連携の事例情報(連携の内容・効果・負担など)を本協会データベース化し、オープンに大学、関連企業、政府機関、関係団体に配信し、連携事業への参加を公募します。

④ 連携活動及び支援企業の公表

支援を提供する企業名を本協会から情報検索サイトを通じてオープンに配信するとともに、マスコミも含め連携の実施状況を公表します。

4. 連携に向けての取り組み

上記の活動を展開するため、本協会及び文部科学省、経済産業省とも連絡、情報交流する中で、以下のような体制で運営していくことを検討しています。

- ① 交流会を機軸に、ネット上に情報系人材の育成に関する問題をオープンに情報交流するプラットフォームを構築します。
- ② プラットホームでの意見及び文部科学省、経済産業省の意見も踏まえ、本協会の情報教育委員会、産学連携推進プロジェクト委員会にて教育課程の日標設定、課題の整理、改善策の企画を提案し、産学官での意識合わせ及び理解の共有を進めていきます。
- ③ 産学連携を実施していくための条件を交流会での意見交流及び文部科学省、経済産業省での取り組みを踏まえ、本協会の運営委員会の中で連携内容に応じた小委員会を組織し、連携を希望する当事者間を交えて条件整備を行います。
- ④ 連携事業の紹介は、本協会のプラットフォーム等で配信します。なお、運営組織に伴う経費は本協会が負担します。

5. 運営スケジュール

交流会は、原則として毎年、年度末の3月上旬に開催します。23年度より本格的に交流会及びプラットフォームで情報交流、意見調整を開始します。また、連携の実施は、条件が整い次第、適宜実施します。